

# 第1学年〈A案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成28年度〜) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてA案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載他)	扱い時数の 目安(計45)
1学期	新しい仲間とともに、 明るい歌声を響かせよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	歌唱 — ア		We'll Find The Way ~はるかな道へ My Voice!	拍の流れによって明るい声で歌おう。 自分もっている歌声を見つけよう!	3
	曲の構成を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。	歌唱 — ア		主人は冷たい土の中に BINGO GAME RHYTHM GAME	曲の構成を感じ取って演奏しよう。 音符、休符、記号の名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。	5
	イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう	●イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。 ●表現したい具体的なイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら場面に合う音楽をつくる。	鑑賞 — ア 創作 — イ		映画「ジョーズ」から “ジョーズのテーマ”  Let's Create!	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくらう。	4
	音楽の特徴から情景を想像しよう	●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞 — ア, イ		春 — 第1楽章 —	ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。	3
2学期	曲想や全体の響きを感じ取って、 表現を工夫しよう	●リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	器楽 — イ 器楽 — ア 歌唱 — ア, ウ 歌唱 — イ, ウ		◆アルトリコーダー LESSON 1 (p.3~9) ◆聖者の行進 (p.50) エーデルワイス Michael, Row The Boat Ashore	リコーダーを演奏しよう。 曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。 3拍子やフレーズを感じ取って歌おう。 階名で歌って、ハーモニーを楽しもう。	5
	詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう	●詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	鑑賞 — ア		魔王	詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう。	3
	曲想やパートの役割を感じ取って、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱 — ウ 歌唱 — ア		パフ 飛び出そう 未来へ	へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう。 歌詞の内容を感じ取り、拍の流れによって歌おう。	3
	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●民謡にふさわしい発声により、言葉の特性を生かしながら表現を工夫して歌う。 ●日本の音階の特徴を感じ取り、表現を工夫しながら簡単な旋律をつくる。	鑑賞 — イ, ウ 鑑賞 — イ, ウ 歌唱 — イ 創作 — ア		日本の民謡 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節 My Melody	人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう。 アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。 声や音楽の特徴を感じ取って歌おう。 日本の音階を使って旋律をつくらう。	6
3学期	日本の歌のよさや美しさを 感じ取って、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱 — ア 歌唱 — ア, ウ		心の歌 赤とんぼ (共通教材) 歌い継ごう 日本の歌	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。	3
	箏曲の特徴を感じ取って、 その魅力を味わおう	●箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ●箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ●箏を平調子に調弦してその音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくる。	鑑賞 — イ, ウ 器楽 — イ 創作 — ア		六段の調 ◆虫づくし、姫松、さくらさくら (p.24~29) ◆ My Melody (p.30, 31)	日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。— 箏曲 — 箏を演奏しよう。 箏を平調子に調弦して旋律をつくらう。	5
	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱 — ア, ウ 歌唱 — ア, ウ		カリブ 夢の旅 心通う合唱 指揮をしてみよう!	曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。 仲間といっしょに表現を工夫して、表情豊かに合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	5
						国歌 君が代	

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

… 音色 … リズム … 速度 … 旋律 … テクスチャ … 強弱 … 形式・構成

… 鑑賞教材 … 器楽教材 (中学生の器楽)

# 第2(2・3上)学年〈A案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成29年度〜) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてB案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載他)	扱い時数の 目安(計35)
1学期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●タンギングやアーティキュレーション、サミングなどのリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		夢の世界を	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。	4
			器楽—イ		BINGO GAME RHYTHM GAME ◆アルト リコーダー LESSON 2 (p.10～13)	音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。 リコーダーを演奏しよう。	
	パートの役割を理解し、 曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きのバランスを考えながら表現を工夫して合奏する。	歌唱—ア、ウ		翼をください	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。	4
			器楽—ウ		My Voice! ◆ラヴァーズ コンチェルト (p.52)	自分の思いを歌声にのせよう！ パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。	
詩と音楽とのかかわりを 理解して、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりや、旋律の音の動き、強弱の変化から旋律のまとまりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。	歌唱—ア		心の歌 夏の思い出 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	
		歌唱—ア、ウ		夏の日の贈りもの	旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌おう。		
曲の構成を理解して、 曲想を味わおう	●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●表現したいイメージをもち、言葉からもととなるリズムをつくり、それらを組み合わせたり反復、変化させたりしながら構成や全体のまとまりを工夫して、リズムアンサンブルをつくる。	鑑賞—ア		交響曲第5番 ハ短調	曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。	4	
		創作—イ		Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。		
2学期	響きの美しさを味わおう	●諸外国の様々な合唱の特徴から音楽の多様性を理解して、アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴いたり、表現を工夫して合唱したりする。 ●和音の移り変わりを感じ取って、表現を工夫しながら旋律をつくる。	鑑賞—ウ		ア カペラの合唱曲	アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。	4
			歌唱—ウ		Kum Ba Yah	アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。	
			創作—ア		My Melody	和音の音を使って旋律をつくろう。	
	日本の歌やカンツォーネの よさや美しさを味わい、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌やカンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 荒城の月 (共通教材)	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌おう。	4
歌唱—ア、イ				サンタルチア	曲想を生かして表情豊かに歌おう。		
歌唱—ア、ウ				歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。		
オペラの特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア、イ		「アイダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	2	
歌舞伎の特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。	鑑賞—ア、イ、ウ		「勸進帳」から	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—歌舞伎—	3	
歌唱—イ		長唄「勸進帳」から	声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。				
3学期	日本の郷土芸能や伝統音楽の 特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●様々な郷土芸能の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	鑑賞—イ、ウ		日本の郷土芸能/ 受け継ごう！郷土の芸能	人々の暮らしの中で受け継がれてきた日本の郷土芸能に親しみ、そのよさを味わおう。	4
			器楽—ア、イ		◆さくらさくら (p.80)	いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう。	
			器楽—ア、ウ		◆「寄せの合方」による リズムアンサンブル (p.84)	日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう。	
仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア、ウ		心通う合唱 指揮をしてみよう！	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。	4	

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌 君が代

…音色 …リズム …速度 …旋律 …テクスチャ *f*…強弱 …形式・構成

…鑑賞教材 ◆…器楽教材(中学生の器楽)

# 第3(2・3下)学年〈A案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成30年度～) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてB案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計35)
1学期	日本の歌のよさや 美しさを味わい、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 花(共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	4
			歌唱—ア		My Voice!	豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう!	
	曲想や語感を生かして、 表現を工夫しよう	●曲想を味わい、言葉の特性を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱—ア		心の歌 早春賦(共通教材)	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	
			歌唱—ア、イ		BINGO GAME	音符、記号などの名前を確認しましょう。	
ポピュラー音楽の特徴を 理解して、 その魅力を味わおう	●様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●曲想の変化を味わい、音素材の特徴や構成を生かしてリズム伴奏を考えたり、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解したりして、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	鑑賞—イ、ウ		RHYTHM GAME	下の図を使ってリズムをつくりましょう。	4	
		器楽—ア、ウ		◆Yesterday (p.74)	パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。		
		器楽—ア、ウ		◆Yesterday (p.74)	パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。		
言葉や音階の特徴を 生かして、 表現を工夫しよう	●言葉の抑揚や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	創作—ア		My Melody	歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。	2	
2学期	パートの役割を理解し、 曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱—ウ		風の中の青春	パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。	3
	歌唱—ア、ウ		フィンランディア	アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。			
	音楽の特徴や背景を 理解して、 その魅力を味わおう	●音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア		⑨ 組曲「展覧会の絵」から	曲のよさをプレゼンテーションしよう。	3
			鑑賞—イ		⑨ ブルタバ(モルダウ)	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。	
	曲の構成を理解して、 リズムアンサンブルの 表現を工夫しよう	●全体のまとまりを考えて表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かしながら、それらの組み合わせ方や反復、変化、対照などの構成を工夫して、リズムアンサンブルをつくる。 ●パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きや構成を考えながら音の組み合わせ方や重ね方など、表現を工夫してリズムアンサンブルをする。	創作—イ		Let's Create!	構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	4
			器楽—ウ		◆打楽器のための小品 (p.78)	楽器の組み合わせ方や音の重ね方を工夫して、響きのおもしろさを味わおう。	
雅楽や能の特徴を 理解して、 その魅力を味わおう	●雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●謡にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して謡う。	鑑賞—ア、イ、ウ		⑨ 平調「越天楽」—管絃—	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—雅楽—	4	
		鑑賞—ア、イ、ウ		⑨ 「羽衣」から	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—能—		
		歌唱—イ		能「羽衣」から	声や音楽の特徴を感じ取って謡おう。		
3学期	世界の諸民族の音楽の 特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞—イ、ウ		⑨ 世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。	2
	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア		きみとともに	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。	6
			歌唱—ア、ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。	
歌唱—ア、ウ				心通う合唱	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。		
					指揮をしてみよう!	指揮をするときのポイントをつかもう。	

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌 君が代

…音色 …リズム …速度 …旋律 …テクスチャ …強弱 …形式・構成

…鑑賞教材 …器楽教材(中学生の器楽)

※「特集 ルールを守って音楽を楽しもう!」については、適宜指導計画に含める。